



## 人型ロボット（pepper）の中学校での活用 ～バーチャルからロボットプログラミングへ～

大府市では、5月にソフトバンク株式会社と締結した「ICT（情報通信技術）の活用による持続可能なまちづくり」に関する包括連携協定の締結を受け、同社の人型ロボット（pepper）を中学校において活用していきます。

本市の小学校では、令和2年度より全面実施される小学校新学習指導要領で示された「プログラミング教育」を昨年度から先行して実施しており、中でも、小学校高学年では、主に「スクラッチ」を活用した授業を行っています。今後、中学校において「スクラッチで得たスキル」を生かし、授業や行事においてロボットプログラミングへと発展させ、探求的な学びを行っています。

### ■行事への活用

- 日 時／（1）令和元年10月5日（土曜日） （2）10月19日（土曜日）  
会 場／（1）大府北中学校 （2）大府南中学校  
内 容／生徒が事前に人型ロボット（pepper）にプログラミングを入力し、学校祭の受付で、会場や内容等の案内を行う。  
備 考／今後、他の中学校においても行事等で活用していきます。

### ■授業・その他の活用

4 中学校へ pepper が納入されており、技術科やコンピュータ部の先生を中心に授業や行事においての活用内容を研究中です。

### ※「スクラッチ」とは

Scratch(スクラッチ)は、MIT（マサチューセッツ工科大学）が開発した子ども向けの感覚的に扱えるビジュアルプログラミング言語で、大府市内の小学校のプログラミング学習で使用しています。

### 【問い合わせ先】

大府市 学校教育課  
担 当：鈴木 達見（スズキ タツミ）  
電 話：0562-46-3332  
F A X：0562-46-0020  
E-mail：gakkyo@city.obu.lg.jp